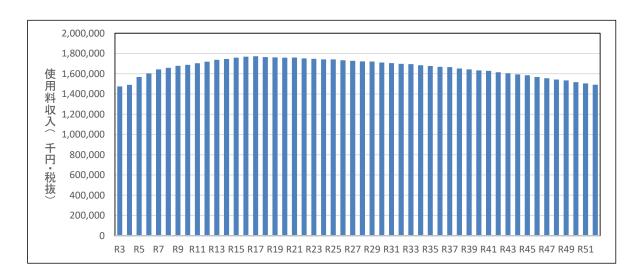
第2回審議会資料抜粋

3. 経営戦略

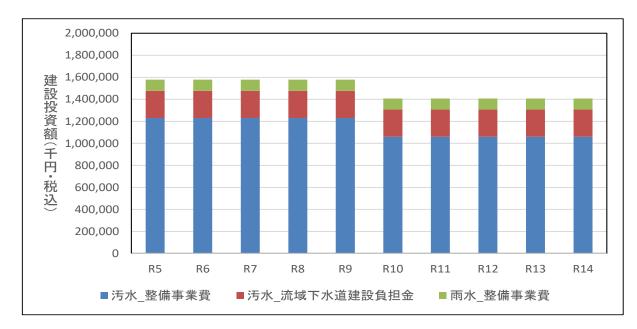
(1) 下水道使用料収入の見通し

■ 令和4年度の使用料収入は、約14.9億円を見込んでいますが、整備区域の拡大にともない微増しますが、 現状の下水道使用料の料金体系を維持した場合は、約50年後の令和52年度は約14.9億円と減少する見 込みです。



(2) 建設投資額の見込み

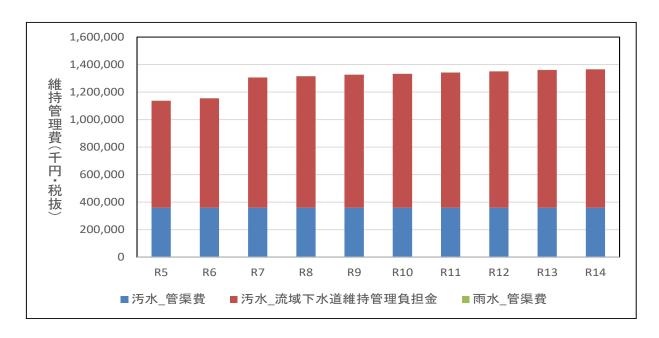
■ 令和5年度から令和 14 年度の 10 年間で、汚水事業に約 114 億円、雨水事業に約 10 億円、汚水処理を 行っている東北部流域下水道の建設にかかる負担金に約 25 億円の費用がかかる見込みです。



									(=	千円・税込)
項目	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
汚水_整備事業費	1,230,000	1,230,000	1,230,000	1,230,000	1,230,000	1,059,400	1,059,400	1,059,400	1,059,400	1,059,400
汚水_流域下水道建設負担金	248,000	248,000	248,000	248,000	248,000	248,000	248,000	248,000	248,000	248,000
雨水_整備事業費	100,600	100,600	100,600	100,600	100,600	100,600	100,600	100,600	100,600	100,600
스타	1 578 600	1 578 600	1 578 600	1 578 600	1 578 600	1 408 000	1 408 000	1 408 000	1 408 000	1 408 000

(3)維持管理費の見込み

■ 維持管理費は、管渠が健全に保たれているかの点検・調査費や、東北部浄化センターで汚水処理にかかる負担金などが含まれます。令和5年度から令和 14 年度の 10 年間で約 130 億円の維持管理費がかかる見込みです。

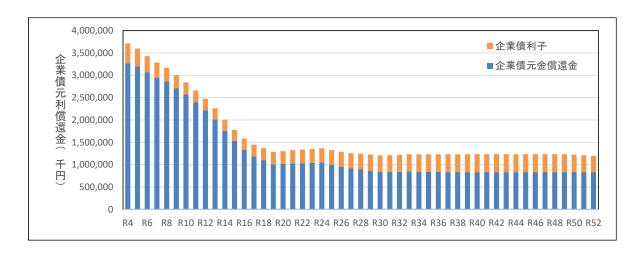


									(<u>十円・柷扱)</u>
項目	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
汚水_管渠費	359,000	359,000	359,000	359,000	359,000	359,000	359,000	359,000	359,000	359,000
汚水_流域下水道維持管理負担金	778,190	795,480	946,930	955,720	967,150	973,320	982,120	990,950	1,001,390	1,006,330
雨水_管渠費	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600
合計	1,137,790	1,155,080	1,306,530	1,315,320	1,326,750	1,332,920	1,341,720	1,350,550	1,360,990	1,365,930

(4) 起債償還費の見通し

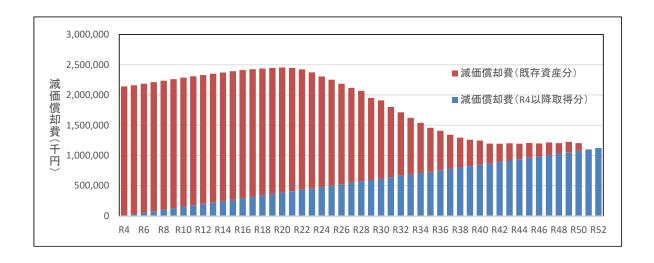
■ 下水道事業では、建設工事などを行う際に企業債を発行し、財源の一部に充てて事業を進めています。企業債は、ある年度の過大な財政負担を軽減し長期的に償還を行うことで、現在と将来の財政負担を平準化させる目的があります。

企業債の償還計画では、今後減少する傾向となります。



(5)減価償却費の見通し(参考)

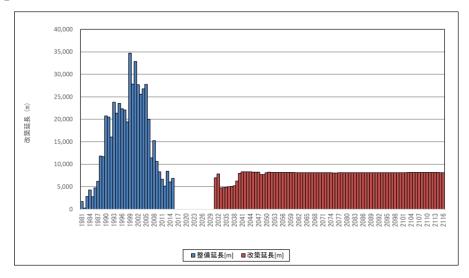
- ■既存資産分(令和3年度までに取得した資産)と令和4年度以降に取得した資産ごとに、将来の減価償却費の見通しを示します。
 - ①減価償却費は、令和 20 年度をピークとして減少傾向となり、その後一定に推移することが見込まれます。
 - ②耐用年数の最大値は管渠資産等の構築物が 50 年であることから、今後 50 年間で既存資産分の減価償却は終了し、令和4年度以降に取得した資産の減価償却費に置き換わることとなります。



ストックマネジメント計画資料抜粋

【管渠】

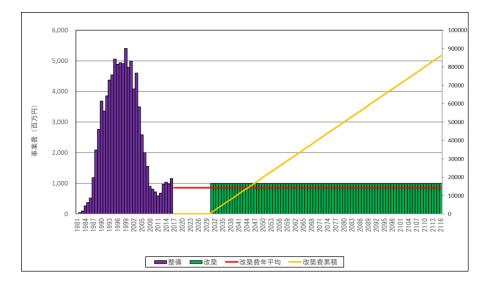
改築延長



投

資

額



緊急度割合

